



# ご利用ガイド



知的財産権の種類は  
主要アンカー・ページです

## 1 上下のナビゲーション

上下のバーはナビゲーションメニュー。  
ツール内の各セクションに移動し、主なアンカーポイントにご案内します。



戻る矢印で前のスライドに戻ります。

## 2 詳しく知る



円の中の文字をクリックしてさらに詳しく知る



塗りつぶされた円はクリックできません

## 3 WIPO制作のウェブコンテンツとリンクしているアイコン



WIPOウェブサイト

PDFファイル

ビデオ

注: 各リンクをクリックするとウェブブラウザが開きます。このプレゼンテーションに戻るには、ブラウザウィンドウを閉じるか、タスクバー上のパワーポイント又はPDFビューアのアイコンをクリックしてください。

## 4 凡例



総合コンテンツ



特許及び実用新案



意匠権



個人のクリエイター



著作権



植物品種保護



中小企業



商標及び地理的表示



学術関係者



営業秘密

スタート

# アイデアを 商業化したい

まずはアイデアを保護しましょう

詳しく知る

# 知的財産権でアイデアを保護しましょう

知的財産権について知るべき  
3つのこと

主な知的財産権

いつから  
アイデアを  
保護すべきか

# 知的財産権について知るべき3つのこと

- 1** 知的財産権は単なるツールではありません  
権利の種類によって、保護の対象が異なります。
- 2** 知的財産権で管理が可能に  
貴方の発明や創作物を誰がどのように利用できるか、ご自身  
で  
決められます
- 3** 知的財産権には属地主義が採られます  
アイデアを保護するには、各市場での権利確保が必要です。  
グローバルな知的財産権は存在しません。

知的財産権が  
どのように適用  
されるか知る

ご利用できる  
主な知的財産権

# いつからアイデアを保護するか？

原則的には

なるべく早く。最初に出願した者勝ちです！

状況確認

どの知的財産権が  
必要か？

投資家が必要？  
IPの価値を算定

パートナーは  
必要？

# 取得を検討すべき権利

## 発明品

特許

実用新案

営業秘密

## 著作物

著作権

意匠権

## ブランド名または ロゴ

商標

著作権

意匠権

## 秘密情報

営業秘密

## 意匠

意匠権

著作権

どのように  
知的財産権が  
適用されるか  
知る

## 新しい植物品種

植物品種保護

特許

IP戦略  
について

# 早速始めましょう

個人の  
クリエイター  
または発明家の方

企業経営者の方

大学の研究者の方



# 知的財産権は 市場へのアクセスや進出に役立ちます

知的財産権の取得前に次の点について考えましょう:

既に保護  
されているか?

アイデアを売れる  
市場があるか?

アイデアの所有者  
は自分か?

どのように  
アイデアを  
保護できるか?

知的財産権  
からどのよう  
に価値を創造  
できるか?

どのように権利  
を行使するか?

# 市場が特定できました。アイデアを保護すべきでしょうか？

## 検討すべき事項:

- 1** 知的財産権は事業目標をサポートします。では、知的財産権をどのように活用・管理しますか？
- 2** 知的財産権は将来のための投資。先を見据えましょう。
- 3** アイデア保護に必要な正しい知的財産権を選びましょう。
- 4** アイデアを共有する前に必ず秘密保持契約 (NDA) 等の契約を締結しましょう。
- 5** アイデアが発展する度に記録しましょう。

どのように知的財産権を保護するか

秘密保持契約についてさらに詳しく

# 貴方のアイデアを売れる市場があります。保護しますか？

## 検討すべき事項:

- 1** 知的財産権は事業目標をサポートします。では、知的財産権をどのように活用・管理しますか？
- 2** 知的財産権は将来ための投資です。先を見据えましょう。
- 3** アイデア保護に必要な知的財産権を選びましょう。
- 4** 知的財産権を保護する前に技術的なアイデアを共有しないこと。アイデアを共有する必要がある場合は、必ず事前に秘密保持契約 (NDA) 等の契約を締結しましょう。
- 5** アイデアが発展する度に記録しましょう。

知的財産権を  
どのように保護  
するか

秘密保持契約  
について  
さらに詳しく

# 知的財産権を取得できるか？

**ご注意ください! 知的財産権の所有権は必ずしも単純明快ではありません**

発明家、クリエイターやデザイナーが必ずしも知的財産権を所有できるわけではありません。

知的財産権が雇用主や雇用した組織に自動的に帰属することもあります。

所有権について  
さらに詳しく

# 市場への道筋を描く際に考慮すべきこと

既に保護されているか？

私が所有しているものか？

私が提供するものに市場はあるか？

どのように保護できるか？

どのように価値を創造できるか？

# 知的財産権で競争優位性を確保

どこから始めるか:

潜在的にどの知的  
財産権を所有して  
いるか把握する

事業に付加価値をもたらす  
有形資産の特定。

IP戦略の構築

IP資産の保護や管理、活用に  
ついて法的助言を求める。

市場への道筋を描く

商品開発や市場投入に当たって  
検討すべきことを考える。

# 事業成長や投資家確保には知的財産戦略が必要

## IP戦略を構築する上で考慮すべきこと

- 1** IP戦略を貴社の事業目標や事業運営に沿ったものにする。
- 2** どの知的財産権を取得し、どのように活用するか検討する。
- 3** 知的財産権の保護や管理のためのマイルストーンを設定。
- 4** 貴方の知的財産権をどのように活用するか？
- 5** 自分の知的財産権をどう守るか？
- 6** 他者の知的財産権をどのように尊重するか検討。
- 7** 定期的にIP戦略を見直す。

知的財産権を  
守る方法

# どのようなIP資産をお持ちか知りましょう

貴方が気付いていない貴重なIP資産をお持ちかもしれません! 貴社の強みを見つけましょう

(例ソフトウェア、事業の運営方法、デザイン、イノベーション、著作物..)

## 始める方法





# 研究者がまず考慮すべき事項

貴方の研究成果から  
生じた知的財産権が  
誰に帰属するか？

大学の商業化戦略は？

貴方の権利と義務  
は何か？

研究から生まれた発明を保護、評価、  
商業化する責任者は誰か？

いつ発明開示書を  
提出すべきか？

IPの所有権に  
ついて

# 研究者に関係がある知的財産権

特許

著作権

植物品種保護

知的財産権の  
活用

# 大学の研究者のためのチェックリスト

## チェックリスト

- ✓ 大学のIP政策を確認する
- ✓ 研究内容について詳細に記録する
- ✓ 商業的価値がありそうなユニークな発見や創作をした時は、発明開示書を提出する
- ✓ 発明開示書には、その発明や創作に貢献した全ての人を記載する
- ✓ 研究内容が保護されるまで発表しない
- ✓ 自分の研究に他者の素材やIPを使用していないか確認する
- ✓ 特許文献を調べる: 特許文献は事業や技術情報の宝庫
- ✓ ライセンス収入の分配方法と自分の分け前を確認する

大学の技術移転室  
に連絡する

物質移動合意書に  
ついて知る

特許について  
知る

IPデータベースを  
検索する

# 技術移転室 (TTO)

TTOは重要なサービスへのアクセスを提供します

- 1 発明の商業的可能性の評価。
- 2 発明をどのように保護、展開、管理するかについての助言。
- 3 発明のライセンスング支援。
- 4 スピンオフ設立支援。

スピンオフ  
について知る

ライセンス  
について知る

# 物質移動合意書

## 何のためのものか:

所有する物質の移動のための条件を定めた取り決め。

## 使用例:

- 研究
- 実現可能性調査
- テストやトライアル用の試作品

## チェックリスト

- ✓ 合意条件
- ✓ 期間
- ✓ 移動する知的財産権の詳細
- ✓ ライセンスの種類 (例:排他的か、非排他的か)
- ✓ 改良があった場合の取り決め (所有権やアクセス)
- ✓ 使用条件と地理的範囲の定義
- ✓ 紛争解決条項
- ✓ 準拠法



パートナーシップ

# スピノフ 研究成果の商業化

スピノフの基礎となるIPを大学からどのように確保するか？

スピノフした企業に大学がIPを  
譲渡するか？



IPはスピノフした企業の  
財産であり、その資本の重  
要な一部である。

スピノフした企業に大学がIPを  
ライセンス契約するか？



大学がIPの所有権を保持して  
おり、スピノフした企業に  
とって金銭的リスクである。

# 既に保護されているか？

- 1** 貴方の意匠は本当に新しいですか？ 貴方の発明は新しく革新的ですか？ 同一または類似のブランド名を他者が既に使用している場合、どのように使っていますか？
- 2** まず出願前に、どのような知的財産権が既に登録されているかをIPデータベースで検索しましょう。
- 3** 他社が既に保有する権利によって貴方の発明、意匠または商標の保護が妨げられますか？ (侵害予防調査またはFTO調査)。



# IPデータベースを検索する

既存のIP権を知るために確認すること：  
貴方の発明や意匠が既に存在するか？ 貴方の商標はまだ使用可能か？



PATENTSCOPE  
で特許を検索



Global Brand  
Database  
で商標を検索



Global Design  
Database  
で意匠を検索



IPデータベース検索を  
TISCがお手伝い



UPOVのPLUTO  
データベースで検索

どのようにアイデア  
を保護したいか？

検索の結果、  
知的財産権を出願  
できることが判明

類似のものがあり、  
知的財産権を確保で  
きないかもしれない

特許情報について  
さらに詳しく



# 知的財産権を保護しました。ブラボー！

## 次のステップは？

製品の市場投入に先立ち、既に登録されている権利を侵害していないか確認しましょう。  
他者の知的財産権を無断で使用すると高くつくかもしれません。

市場参入前にIPデータベースを検索しましょう

知的財産権の所有者は  
損害賠償や貴方の製品の  
市場からの排除を  
要求できます

法的助言を求めま  
しょう  
-その価値は十分あ  
ります

# 検索の結果、貴社技術と類似の技術や権利が存在することが判明

以下の可能性を探るため、法的助言を求めましょう

既存の権利へのアクセスを確保

既存の権利を避けた意匠

特定技術を貴社製品から取り除く

既存の権利を無効にする

法的助言について詳しく

ライセンス契約について

# どのようにIPにアクセスするか

検索の結果、貴方の行く手を阻み得る知的財産権が判明。

どのような選択肢があるでしょうか？

ライセンス契約  
を締結

一定の条件 (例: 特定の分野、特定の製品や市場) で知的財産権を使用する権利を取得する。より費用対効果に優れた選択肢かもしれません。

購入する

全ての関連する知的財産権の所有権を移転。通常、より費用がかかる選択肢です。

IPの価値評価

IPデータベース  
を検索する

法的助言  
を求める

# 知的財産権を購入してその権利にアクセス

## 知的財産権を購入する際に考慮すべき3つのこと

- 1** デューディリジェンスを行い、誰から何を購入するのか理解しましょう。
- 2** 購入する資産について独立の評価を求めましょう。
- 3** 取引が効率的かつ効果的に行われるよう、法的助言を求めましょう。

知的財産権の  
譲渡について

  
IP資産評価

IP戦略

# 特許技術にアクセスする際に考慮すべきこと

- 1** 残りの保護期間は？
- 2** その技術をどのように使用するか。どこでどの期間？
- 3** 特許権者は誰か？
- 4** 特許の強さは？ 審査済みか？
- 5** 特許技術使用の対価は？
- 6** 特許技術へのアクセスは貴社の出口戦略に沿っているか？  
(例: 他の投資家や企業に貴社を売却する計画)

どのように  
発明を保護するか？

IPデータベースを  
検索

ライセンス契約

# 発明を保護する方法: 特許と実用新案

## 保護を受けるための要件

- ✓ 一般的に新規性と進歩性があること
- ✓ 産業上利用できること
- ✓ その国における発明の定義を満たしていること

## 1 特許

これらの権利を取得すれことで、誰が貴社の発明を製造、販売、利用できるか管理できます。保護の対象となる基準は権利や国によって異なります。

権利は期間限定かつ属地主義

特許: 20年、実用新案: 7-15年

## 2 実用新案

## 3 防衛的公開

技術の詳細の公開によって、他者が特許を取得できなくなります! 予算に制約のある場合の選択肢かもしれません。

特許取得前に確認すべきこと

海外での特許保護

特許と実用新案についてさらに詳しく

IPデータベース

特許が貴社の事業にどのように価値をもたらすか

# 特許と実用新案について知るべき6つのこと

- 1** 貴社の発明は法的に見て新規性があり、他と異なるものでなければなりません。検索をして、法的助言を求めましょう。
- 2** 素早く行動しましょう。特許や実用新案を一番先に出願した者がその権利を享受できます。
- 3** 権利取得後、貴社の発明を誰が製作、使用、輸入、販売できるかを貴社が決めることができます。
- 4** これらの権利は、製品を商品化する自由を与えるものではありません。貴社製品の一部要素の知的財産権を既に他者が取得済かもしれません。
- 5** 費用支払いは一度限りではありません。出願中や権利維持に費用が発生することがあります。
- 6** クレーム (特許請求の範囲) は重要です。出願時のクレーム内容で保護範囲が決まります。クレームの対象範囲は、国ごとに異なる可能性があります。

IPデータベース  
を検索する

発明を保護する  
方法

行動を起こす前  
に知るべきこと

法的助言を求める

# 特許や実用新案が貴社の事業にどのように価値をもたらすか

- 1** 貴社が新しいものを創造したことを証明します。
- 2** 貴社に信用を与えます。
- 3** 交渉材料に使えます。
- 4** 特許や実用新案の所有で優遇されるかもしれません (例: 政府の入札案件等)。
- 5** 権利の売却またはライセンス供与によって収益化が可能です。

海外で発明の特許  
を取得

  
PCT:  
国際特許制度



# 海外市場で発明品の特許を取得する

## 考慮すべき点

- 1** 発明品をどこで製造して販売するか？
- 2** 競合他社が同様の製品を提供すると予想されるのはどこか？
- 3** 保護申請のための費用。



解説: WIPOの特許協力条約を使って発明を海外で保護する方法

## 特許情報： 競争力ある情報源

- 1** 発明の保護が得られるか示してくれます。
- 2** 貴方の製品提供の妨げになり得る他の権利について警告してくれます。
- 3** 潜在的なパートナーや技術を特定します。
- 4** ライセンシングによる収益化の可能性を示します。
- 5** 最適な資源利用のための初期の研究開発の意思決定を導きます。
- 6** 技術的展望について知ることができます。

検索  
IPデータベース

  
FTO調査について  
さらに詳しく

パートナーシップ

ライセンスング

# 特許や実用新案に投資する前に考慮すべきこと

- 1 その技術が売れる市場があるか？
- 2 自分が発明の所有者か？
- 3 権利取得や維持にかかる費用は？
- 4 特許保護を得るために発明を公開したいか？
- 5 特許や実用新案の商業的価値は何か？

特許について知るべき6つのこと

発明者性が  
所有権か

IPの価値評価

# 製品のデザインが製品の商業的成功のカギを握る

## 意匠権で意匠を保護

### 意匠権

- 1 形状、模様、線、色彩などの製品の  
外観の保護。
- 2 様々な製品（包装、容器、家具から宝  
石、電気機器、繊維等まで）を保護。
- 3 貴方の意匠を用いたり具現化したり  
した製品を製造、販売、輸入できる  
人を決められます。

### 期間限定、各国毎に

当初保護期間は5年で、その後期間限  
定で延長可能（年数は各国で異な  
る）。

殆どの国では、意匠の保護には登録が必要。  
一部の国では、未登録の意匠にも限定的に保  
護を与えている。



WIPO PROOF

# 意匠権

## 意匠は貴重な事業資産

### 意匠権がもたらすもの:

- 1** 商業的価値の向上  
投資効果の向上。
- 2** 収入  
意匠をライセンス契約して手数料を徴収し、収益創出
- 3** 市場における地位向上  
意匠は、商業的成功を収めるための重要な要素。
- 4** 侵害者からの保護  
貴方の意匠を他者が模倣することを阻止

意匠  
登録前に

意匠保護の方法に  
ついてさらに詳しく

海外で  
意匠を保護

ライセンス契約

# 意匠登録前にすべきこと

- 1** 意匠を保護することができるか確認しましょう。国ごとにルールが異なります。
- 2** 意匠データベースを検索して貴方の意匠が新しいか確認しましょう。

## チェックリスト

- ✓ 各国の規則に従って意匠の詳細 (写真や図面) を準備。  
(自国知財庁に確認)
- ✓ 意匠に関連する全ての角度からの図面を記載する
- ✓ 意匠のどの部分を保護したいかを定める
- ✓ 意匠をどこに登録するかを決める
- ✓ 疑問があれば、知的財産権の専門家に相談し、意匠権出願をする意味があるか、どのように出願するかを相談する
- ✓ 意匠権登録後は権利更新をお忘れなく

意匠をどのように保護するかについてさらに詳しく

IPデータベースを検索する



意匠保護



WIPO PROOF

法的助言を求める

# どのように意匠を保護するか

- 1** WIPOが管理・運営する意匠の国際登録制度（ハーグ制度）は、国内外で意匠を迅速、簡便、安価に保護する方法を提供します。
- 2** 自国の知財庁にお問合わせください。



解説: WIPOのハーグ制度でどのように意匠権を保護するか

意匠登録にあたって

意匠権について



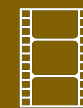
ハーグ制度についてさらに詳しく

# 貴社が知っていて競合先が知らない情報が 貴社の競争優位性をもたらす

営業秘密で秘密情報を保護する

## 何が営業秘密に該当するか?

- 1 秘密であるからこそ商業的価値がある情報。
- 2 関連する技術・事業分野において一般に知られていない情報。
- 3 情報の保有者がその情報を秘密にするために合理的な措置を講じている情報。



解説: 営業秘密とは  
何か?



営業秘密について  
さらに詳しく

営業秘  
密  
(チェックリスト)



# 営業秘密

営業秘密を守るために秘密保持契約の締結等、合理的な措置を講じる必要があります

## チェックリスト

- ✓ 自分が保有していることに気付いていないものは保護できないため、どの秘密情報が付加価値をもたらすか特定する
- ✓ 「知る必要」に基づく
- ✓ 雇用契約書に秘密保持条項を盛り込む
- ✓ 秘密情報を共有しないこと。油断は禁物。情報を共有しなければならない場合は、秘密保持契約を締結して相手に秘密保持を義務付けること。
- ✓ 各国で同じ保護が得られるわけではないため、適用される法律を確認すること

営業秘密に戻る

秘密保持契約を見る

WIPO PROOF

# 植物品種保護

植物の育種に関心がありますか？

植物品種保護(PVP)によって、育成者は:

- 1** 投資利益を確保できる。
- 2** 気候変動に対応し、食の安全保障を改善する改良された新品種を農家に提供するための投資ができる。
- 3** 公共部門が公共の利益を得られるようにする。
- 4** パートナーシップを促進して共通の目標を達成し、植物品種の開発費用を分担し、販売流通を促進する。
- 5** 品質を管理することで、その品種の価値と評判を維持できる。
- 6** さまざまな種類や品種に対応できるよう支援を受けられる。



UPOV制度が  
どのように役立つか

# 商標: ブランドの礎

永続的な価値を持つ取引可能な事業資産

商標が貴社の事業に及ぼす5つの効果

- 1** ブランドイメージや評判の向上
- 2** 収入源になる
- 3** 潜在的なパートナーや投資家に対して貴社の価値を示すことができる
- 4** 他者が貴方の投資にただ乗りするのを阻止する
- 5** 融資の担保になる

どのように商標登録  
するか

  
費用は  
いくら?

ブランドを  
保護する  
その他の方法

ライセンス契約

# 商標権について

## 1 商標とは

自社の製品やサービスを他社のも  
のと区別することを可能にするも  
の。

## 2 何を登録できるか

可能性は無限大: 言葉、名前、文字、数字、  
図面、写真、音、色またはこれらの組み合わ  
せ。

## 3 更新可能で属地主義

最初の存続期間は通常10年。

注: 国によっては、商標登録をしなくても一定の保護を受けられます。しかし、自分  
が正当な所有者であると証明することがより困難で割高になる場合もあります。



Global Brand  
Database

ブランドを保護  
するその他の方法

商標を登録する方法



WIPO PROOF

知的財産権を  
行使する

# 商標について知るべき4つのこと

- 1** 登録の基準は国によって異なります。
- 2** 商品やサービス別の45種類の区分に基づいて商標が登録されます。
- 3** 貴社の商標や標識が、他者の類似の製品やサービスの商標や標識と類似または同一の場合、他社が貴社の出願に反対することができます。
- 4** 登録が完了すれば、侵害者に対して商標権を行使できます。

商標を登録する方法

ブランドを  
保護する  
その他の方法

  
Madrid Goods  
and Services  
Manager

# 貴社の標識を使えるか？

## 既に存在するか？

**1**

商標データベース  
を検索

**2**

法的助言を求める

## なぜ検索するか？

以下のことが避けられるから：

- 賠償金支払い
- 悪評の拡散
- 新しい商標をつくること
- リブランディングのための支出

IPデータベース  
を検索

法的助言  
を求める

商標を登録する  
方法

ブランドを保護する  
その他の方法

# 貴社の標識を既に他者が登録済み

今どうすべきか?

- 1** 貴社の標識が、貴社と同一または類似の製品やサービスで他者に既に使用されている場合、登録することができないかもしれません。
- 2** 貴社の標識が、貴社とは異なる製品やサービスで他者に使用されている場合、登録できるかもしれません。
- 3** 法的助言を求めましょう。

注: 認知度の高い商標は、製品/サービスの区分から拡大した保護を受けられます

商標を登録する  
方法

法的助言を求める

ブランドを保護  
するその他の方法

  
Madrid Goods  
and Services  
Manager

# 商標を登録する方法

## 国内外で商標を保護することができます



国内: 国内の知財  
庁に問合せ



海外: マドリード  
制度を活用



解説: マドリード制度  
とは?

商法を登録する方  
法についてさらに  
詳しく

ブランドを保護する  
その他の方法



# 商標を登録する方法

## チェックリスト

- ✓ 特徴的で記憶に残り、ブランド価値を表す標章にすること
- ✓ まず使用可能であることを確認してから使用すること
- ✓ 造語は最高の商標になる (例 Kodak、Xerox)
- ✓ 商標を登録すれば、正式に商標権者として認識される
- ✓ インターネットのドメイン名の登録もお忘れなく

ブランドを保護する  
その他の方法

# ブランドを保護できるその他の方法

中小企業は、以下を活用して共同で活動することで、スケールメリットやより幅広いブランド認知を享受できます

- 1 団体商標**  
(商標の所有者である) 協会の会員の商品・サービスを他の協会のものと識別する。
- 2 認証マーク**  
認証マークの所有者が設定した基準や特徴に適合した製品やサービスを識別する。
- 3 地理的表示**  
特定の地理的原産地を有し、その原産地に由来した品質、評判、その他特性を有する産品を識別する。

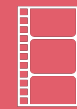
どのように商標を登録するか

地理的表示についてさらに詳しく

# 地理的表示

地理的表示 (GI) は、特定の原産地に由来する商品につけられる標識  
その品質、特性や評判は基本的にその産地に由来します

- 1 集団的権利**  
特定の基準を満たせば、誰でも使用できます。
- 2 公正な取引**  
地理的表示の基準に満たない商品が地理的表示を不正使用するのを防ぐことができます。
- 3 収益向上**  
地理的表示の対象となる商品はより高価格で販売できます。
- 4 地域社会の発展**  
地理的表示は、地域社会の発展を支えることができます。



解説: 地理的表示とは何か?



リスボン  
制度



地理的表示と商標  
の違いは?

地理的表示をどの  
ように保護するか

# 地理的表示をどのように保護するか

- 1** 特別な地理的表示保護制度。
- 2** 団体商標または認証マーク
- 3** 行政による産品承認スキーム



リスボン  
制度



地理的表示について  
さらに詳しく

# 法的助言を求める

## いつ法的助言を求めるか

- ✓ IP戦略を構築する時
- ✓ 知的財産権を確保する時
- ✓ 知的財産権を売却、譲渡、ライセンス契約する時
- ✓ パートナー契約などの交渉時
- ✓ 知的財産権を誰かに侵害された時
- ✓ 知的財産権を侵害されたと他者から主張された時

## どこに助言を求めるか

- 1** 知的財産専門の弁理士事務所  
知的財産専門の助言を求める。
- 2** 私立弁護士事務所  
一般的な法的助言を求める。

## その他支援

- 1** 自国の知財庁  
どのような中小企業支援を行っているか問合わせる
- 2** 商工会議所
- 3** 技術・イノベーションサポートセンター (TISC)

# 発明者性か所有権か

IP資産を活用する上で、所有権を明確にすることが不可欠

## 1 企業の場合

多くの国では、発明者が所有者になる。発明を使用するには、所有権または実施権の取得が必要。企業は通常、雇用契約の一環として、従業員に知的財産権の譲渡を求めます。

## 2 大学の場合

所有権は、国内法、大学のIP政策、雇用契約並びに産業界のパートナーとの個別契約によって決定されます。

知的財産権の譲渡  
について

著作者か所有権か

# 著作者か所有権か

IP資産を活用する上で、所有権を明確にすることが不可欠です

## 1 企業の場合

多くの国では、著作者や創作者が著作権の所有者。著作物を使用するには、それを所有しているか使用する権利を取得することが必要です。企業は通常、知的所有権を企業に譲渡することを雇用契約の中で従業員に求めます。雇用主は通常、「職務著作物」の取り決めのもとで著作物を所有します。

## 2 大学の場合

所有権は、国内法、大学のIP政策、雇用契約及び産業界のパートナーとの個別契約で決定されます。殆どの大学は、芸術作品や学術研究の著作権は主張しませんが、教材やコンピュータ・プログラムの著作権は主張することがあります。

知的財産権の譲渡  
について

発明者性か所有権か

# 著作権

## 著作権とは

著作権とは、原著作物を保護し、作品の創作者に一定の期間、様々な権利を与えるもの。著作権で保護された著作物の所有者は、以下を許諾または禁止できます:

- ✓ 他者による使用
- ✓ 様々な形態での複製 (例 印刷出版物または録音)
- ✓ 著作物の複製品の流通
- ✓ 公演
- ✓ 放送またはその他公衆への伝達
- ✓ 翻訳
- ✓ 改作 (例:小説の映画化)

## 保護期間

作者の生存期間及びその死後少なくとも50年間。

著作権の保護対象期間が切れた作品はパブリックドメインとよばれ、誰でも使用できます。

## 著作権で保護される原著作物の例

- ✓ 書籍、講義、演説、翻訳
- ✓ 演劇、ミュージカル、ダンス公演
- ✓ 音楽、映画、ビデオゲーム
- ✓ 芸術作品、図面、写真、彫刻、建築、その他視覚芸術
- ✓ コンピュータ・ソフトウェア、データベース
- ✓ ウェブサイトの殆どの部分
- ✓ 携帯電話アプリ
- ✓ オリジナルのデータベース

データ、プロセスや日々のニュース等、著作権で保護されないものもあります。

著作権と事業

著作権の決まりごと

著作権について  
さらに詳しく

著作権隣接権

著作権か所有権か



# 二種類の権利

## 1 財産的権利

他者が著作物を使用した場合にその著作権者が支払いを受取る権利。

## 2 著作者人格権


著作者と著作物との個人的なつながりを保護するもの。

## 一般原則

他者の作品を使用するには、まず著作権者の許諾を得る必要があります。ただし、例外的に著作権作品を許諾なく利用できる場合もあります。

著作権の任意登録

著作権の決まりごと

  
著作権について  
さらに詳しく

著作者か所有権か

知的財産権を  
行使する

# 著作権の決まりごと

## 著作権保護の5つのメリット

- 1 自動的な保護**  
著作物を創作した時点で保護対象に。
- 2 管理**  
著作物を誰が使用、販売、借用、複製、ライセンスできるか貴方が決められます。
- 3 収入**  
著作物の権利を他者にライセンス契約または譲渡することで収入を得られます。
- 4 資金調達**  
著作物を使って資金調達したり、新しい創作プロジェクトのための担保として使えます。
- 5 侵害者対策**  
権利の侵害者に対して行動を起こすことができます。



著作権について  
さらに詳しく

著作権と事業


著作権の任意登録

著作権隣接権

# 著作権が貴社の事業に関係がある場合


- 1** 創造的な新製品を発売する時。
- 2** 他者の著作物を使用する時。
- 3** ウェブサイト作成時やオンラインでのコンテンツ共有時 (ソーシャルメディアプラットフォーム上を含む)。
- 4** 貴社がソフトウェアを製作したり、他者が開発したソフトウェアを使用する時。
- 5** 独自のデータベースを作成する時。

著作権

  
著作権について  
さらに詳しく

著作隣接権

著作権の任意登録

  
著作権や著作隣接  
権のライセンス契  
約の手引き

# 著作権の所有権を証明する

注: 著作権登録は義務ではありません。著作権を登録していなくても著作物の著作権を有します。

**なぜ、任意の著作権登録制度を利用するのか?**  
自分が原著作物の著作権者であると証明するために任意の著作権登録を利用しましょう。



自国の知財庁に  
問い合わせる

著作物のデジタルファイルが  
特定の時点で存在したことを  
示す証明書入手します。



WIPO PROOF

著作権

所有権と著作権

# 著作隣接権について

## 1 著作隣接権とは

著作隣接権は、歌手、実演家、レコード製作者、放送事業者等、著作物に密接に係わって価値をもたらし、著作物の公衆への伝達に重要な役割を果たしている個人やグループを保護します。殆どの国では、これらの個人やグループは著作権保護の対象外です。

## 2 保護期間

多くの国では、レコーディングまたは実演が行われた日から50年です。

著作権



著作隣接権についてさらに詳しく

知的財産権を行使する

# 著作権の収益化: ライセンス契約

著作権者はライセンス契約によって著作権を収益化できます。

著作権者が著作権について非常に寛大な場合、以下のような対応をするかもしれません:

- 著作権を完全に放棄し、その著作物を誰でも使えるようにする
- 非商業的目的に限って、作品の自由な使用を認める
- クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを使って使用条件を定める

注: 他者の著作物を使用する前に著作権者から必ず許諾を得ましょう。

ライセンス契約  
の利点

著作権

  
著作権について  
さらに詳しく

著作権の制約

著作隣接権

著作権か所有権か

# 知的財産権の譲渡

**1**

他の財産と同様、知的財産権も他の人に譲ることができます。これを譲渡と言います。多くの国では、譲渡に法的効力を持たせるためには、関連当局への届け出が必要です。

**2**

知的財産権の譲渡は次のような場合に企業にとって有用な手段です：

- 開発できない、または開発したくない資産を手放す
- 資産の現金化
- 買収後に所有権を移転
- 交渉において知的財産権を活用

## 覚えておくべきこと

所有権が移転すると、通常、全ての経済的権利が失われます。貴社の事業戦略が変わり、IP資産を利用したいと将来的に思うかもしれません。焦って行動してはいけません。

知的財産権の権利者が複数 (例: 共同創作者、共同開発者) いる場合、権利譲渡の際に他の権利者の許可を得る必要があるかもしれません。

知的財産権譲渡の  
ヒント

知的財産権の  
収益化

秘密保持契約

# ブラボー!知的財産権を取得できました どのように収益化しますか?

## 収益化の方法:

- 1** ライセンス契約  
ライセンス契約で収入を得たい場合。
- 2** 売却  
現金が必要な場合、またはIP資産を開発する余裕がない場合。

知的財産権の譲渡  
について



ライセンスの種類





# ライセンスの種類

**1** **独占的实施権又は単独ライセンス**  
権利者がライセンシーに対して特定のIP資産を使用するライセンスを付与し、他者にはライセンスを付与しないことに同意するもの。ただし、権利者はその資産を使用する権利を保有することができます。

**2** **非独占的实施権**  
権利者がライセンシーに対して、所定のIP資産を利用するライセンスを付与し、さらに他者にも同様にライセンスを付与し得るもの。IP資産の所有者はその資産を使用する権利を保持します。



成功する  
技術ライセンス契約



商標のライセンス契約  
の手引き



技術ライセンス交渉



著作権と著作隣接  
権のライセンス契約  
の手引き

# 知的財産権の譲渡とライセンス契約に関するヒント

IPの譲渡契約やライセンス契約では、次の点を明確にしましょう:

- ✓ 譲渡またはライセンスされる知的財産権
- ✓ 報酬及び条件 例 ロイアルティ
- ✓ 保証 (例 譲渡またはライセンスされる知的財産権を譲渡人またはライセンサーが所有しており、他者の知的財産権を侵害していないという確認)
- ✓ 準拠法及び紛争解決条項
- ✓ 契約の登録責任者 (必要な場合)


秘密情報を共有する場合、まずは秘密保持契約を締結しましょう。

さらに、ライセンス契約については

- ✓ ライセンス範囲とどこに適用されるかの定義
- ✓ いかなる義務もライセンサー側にあることの明記
- ✓ ライセンスされた技術をライセンサーがさらに発展させた場合の対処法
- ✓ 侵害行為への対処法
- ✓ 契約の登録責任者 (必要な場合)
- ✓ 法的助言を求める

知的財産権の譲渡  
について

秘密保持契約

  
WIPO Greenライ  
センス契約チェッ  
クリスト

# 知的財産権を他者にライセンスするメリット

- 1** 新たな収入源の創出。
- 2** 新しい市場に進出する際の費用低減。
- 3** 新しい技術へのアクセス。
- 4** リスク共有。
- 5** 競合他社をパートナーに変えていくことで紛争解決。

ライセンスの種類

知的財産権による  
パートナーシップ  
の促進

手引き


# 秘密保持契約 (NDA)

機密情報を安全に共有するために秘密保持契約を結びましょう

## チェックリスト

- ✓ 何を共有するか定義する
- ✓ 情報の利用目的の説明
- ✓ 義務の存続期間は？
- ✓ 情報が公開された場合どうなるか？
- ✓ 契約終了後どうなるか (例 機密情報を含む書類の返却または破棄は必要か)？
- ✓ 法的助言を求める

法的助言を求める

  
秘密保持契約  
についてさらに  
詳しく

  
WIPO  
PROOF

# 知的財産権によるパートナーシップの促進

パートナーシップでは知的財産権は次のように使われます:

- 1** パートナーシップに寄与する資産
- 2** 新しいIP資産を創出することで協業の成果を収穫する方法

IPを活用したパートナーシップの利点:

- 1** 新技術へのアクセス及び・または開発。
- 2** R&D費用を削減してリスクを共有。
- 3** 新たな市場に参入して事業を拡大。

協業と  
パートナーシップ

# パートナーとの連携: 協業や合弁事業

## なぜ連携するのか

共同プロジェクトに取組み、リスクを共有し、新しい技術、製品やサービスを創出するため。

盤石な契約で成功を導きましょう

各当事者の権利と責任を明確に定めること。

## チェックリスト

- ✓ 協業や共同事業を定義し、どのように管理するか定める
- ✓ バックグラウンドIP（各当事者が元々所有していた知的財産権）をリストアップし、アクセス権や条件を明確にする
- ✓ 協業から生まれた知的財産権(いわゆるフォアグラウンドIP)の利用や活用に関する概略をまとめる
- ✓ 紛争解決のための準拠法や取り決めを定める
- ✓ パートナーシップが変化または終了した場合の対処法を明確にする



WIPO  
MATCH



WIPO  
GREEN



WIPO  
Re:Search

# 知的財産権の行使

あなたの知的財産権には価値があります。守ってください。

知的財産権の所有者として、あなたの責任で侵害行為を監視しましょう。



裁判外紛争解決について詳しく

## チェックリスト - 何をすべきか:

- ✓ 未登録の重要な知的財産権 (例 営業秘密) を特定し、文書化して契約で保護する。
- ✓ 自身の知的財産権の所有権を確実に証明できるようにする
- ✓ 市場や貴社の知的財産権を無断で使用しているかもしれない競合他社を監視する
- ✓ 侵害行為を証明するために証拠を収集し、法的助言を求める
- ✓ 侵害行為にどう対処するか決め、素早く行動する
- ✓ 侵害者がライセンサーになり得ることも念頭におく

## 自社の知的財産権を監視及び行使する方法:

- ✓ ブランド保護会社か弁理士事務所に依頼してインターネットを監視することを検討する
- ✓ 主なオンラインプラットフォームの通知・削除規定を熟知する
- ✓ 自社と類似したドメイン名に目を光らせる
- ✓ 裁判外紛争解決を検討する。時間と費用をかけずに裁判外で紛争を解決する方法です。
- ✓ 模倣品や海賊品対策のため、税関での保護を申し込む
- ✓ 提訴する
- ✓ 法執行機関を巻き込む

# WIPO PROOF

## 信頼できるデジタル証拠

ある電子情報が特定の時点で存在していたことを証明するオンラインサービスで、耐改ざん性に優れた証拠を素早く提供します。

### メリットと使い方

- 1** 証拠
- 2** 秘密性
- 3** 低コスト
- 4** 信頼でき、安全
- 5** 紛争リスクへの備え
- 6** グローバル



解説: WIPO PROOF  
とは?



# IP資産の評価方法

知識経済では、無形資産(イノベーション、コンテンツ等)が企業価値の大部分を占めます

## IP資産を評価する3つの方法

- 1 費用**  
類似の資産を開発した場合に基づいて算出した価値。
- 2 市場**  
類似のIP資産に対して同様の条件で実際に支払われた価格に基づいて算出。
- 3 収入**  
IP資産が創出すると予想される収益に基づいて算出。

法的助言を求める

IPを収益化

IP評価について  
さらに詳しく

# IPR Goについて

2021年4月25日 第1.01版

IPR Goは、アイデアを市場で売り出す際に知的財産について考慮すべき実用的なポイントをまとめたインタラクティブ・ツールです。

免責事項: IPR Goに掲載されている情報は参考情報で情報提供のみ目的としており、法的助言を行うものではありません。ご利用者は各自でデュー・ディリジェンスを行い、知的財産の専門家にご相談ください。

IPR Goは、FIT/日本知的財産グローバルファンドの支援を得て、世界知的所有権の日-2021のために作成されました



Japan Funds-in-Trust  
Industrial Property  
Global



IPR Goの作成にご尽力・ご協力下さった全てのWIPO関係者に御礼申し上げます。

世界知的所有権の日-2021のためにDilucidar社がWIPOと共に作成しました

